

藤沢市が「Mirapoint RazorGate」を採用してセキュアなメールシステムを再構築

5年間のTCO比較やスパム誤検知率を重視して選定

2006年、情報化の先進的自治体である藤沢市役所は、これまで職員ポータルシステムとして利用していたグループウェアを刷新するにあたり、新たに職員個人にもメールアドレスを付与することになった。しかし、メールアドレスの付与とともに、スパムの増加が局面化し、2007年2月から本格的対策の計画に乗り出した。

藤沢市は、次のようなシステム要件のもと、製品の選定を実施した。

- ・管理・コスト面で負担の少ないゲートウェイシステム
- ・最低70%以上のスパム検知率
- ・検知率よりも、優れた誤検知率を重視
- ・5年間のトータルコストでの競争入札

導入および運用・管理が容易であることから、当初からアプライアンス型ゲートウェイシステムに注目し、スパム対策機能、スパム検知率／誤検知率、そして年間のTCO（総所有コスト）の評価を行ない、入札を経て、ミラポイント ジャパンのメールセキュリティアプライアンス「Mirapoint RazorGate」を選定した。

メール全体の70～80%を占めるスパムを排除

新システムは、高可用性を確保するために、2台のMirapoint RazorGateによるコールドスタンバイ構成とし、スパムソリューション「Mirapoint RAPID Anti-Spam」を中核とするマルチレイヤプロテクションにより、スパムメールを排除していく。導入後は、メール全体の70～80%を占めるスパムを排除することができ、誤検知はほぼ皆無に近い実績を上げている。しかし、



Mirapoint RazorGate 6000

日々増加していくスパムの更なる対策として、Mirapoint RazorGateに搭載された機能であるSMTPレイヤプロテクション「MailHurdle」を立ち上げ、SMTPレイヤ上での徹底的なスパムの排除を行なうとともに、Mirapoint RAPID Anti-Spamの負荷軽減と効率向上にも取り組んでいる。

Mirapoint RazorGateに対する評価と導入成果は以下のとおり。

◆アンチスパム機能：RAPID Anti-Spamを中核とするMirapoint RazorGateのセキュリティ機能により、メール全体の70～80%を占めるスパムを排除し、誤検知率は皆無に近い。今後、MailHurdleと組み合わせることで、検出精度をさらに向上させる計画である。

◆管理の容易性：ゲートウェイ型MTA（Message Transfer Agent：メール配信サーバ）としての基本機能、および、アンチスパム機能を、容易に設定・管理できるインタフェースが充実しており、セキュリティを向上しつつ、メールの受配送管理の負荷も軽減された。

◆コストパフォーマンスとTCO：導入コストだけでなく、5年間のTCOに着目して比較した結果、コスト競争力が最も高く、アンチスパム機能、信頼性を総合して、優れたコストパフォーマンスを提供している。

ミラポイントは、厳格なセキュリティポリシーを持ち、IT推進における自治体のリーダー的存在である藤沢市において、セキュリティ機能、運用・管理の容易性、優れ

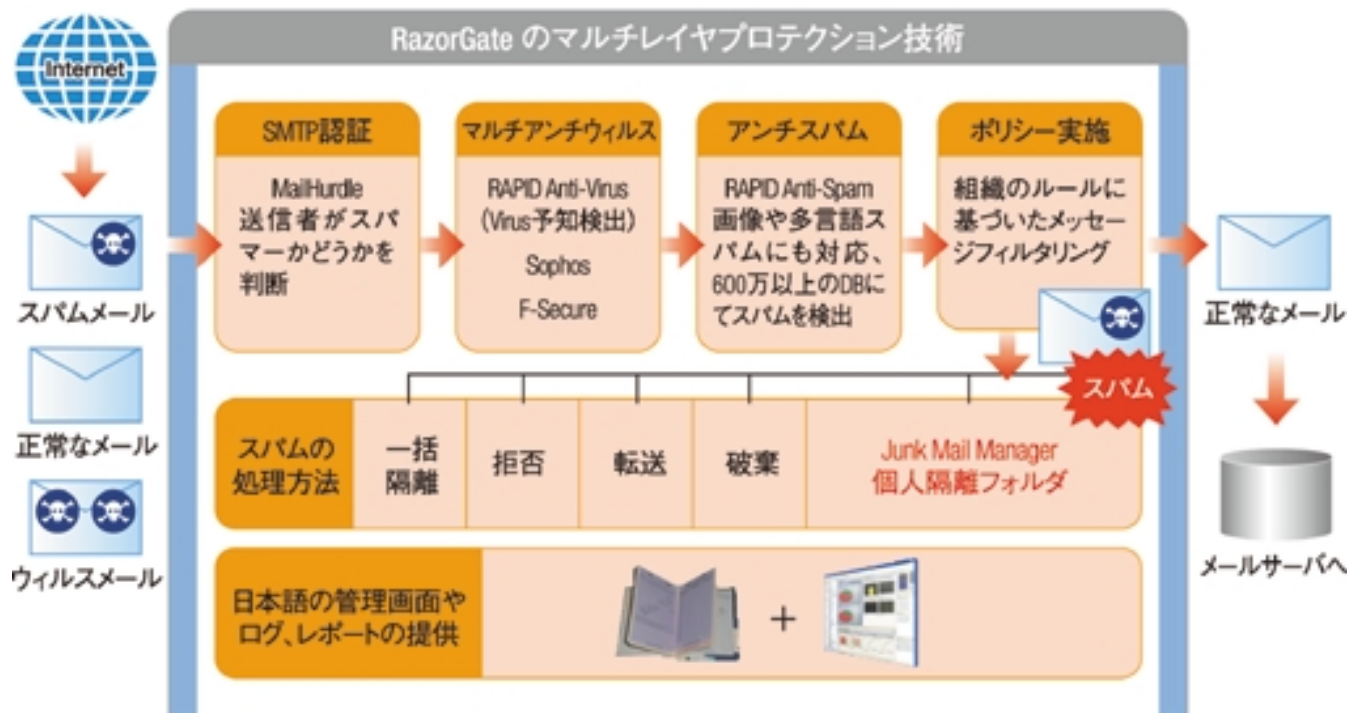


図1 Mirapoint RazorGateのマルチレイヤプロテクション技術

たTCOやコストパフォーマンスの高さを実証したMirapoint RazorGateを、官公庁、地方公共団体、電子政府分野市場に対してさらにと注力していく計画である。

Mirapoint RazorGate「6シリーズ」を発表

先に紹介した藤沢市役所や日本航空などに採用されているMirapoint RazorGateの新モデル「6シリーズ」が2008年1月28日に発表された。

RazorGate 6シリーズは、ミラポイント製品の特長でもあるEメール専用の独自OS「MOS」もMOS4.0にバージョンアップされ、プロセッサもクアッドコアのインテル Xeonを小～中規模向け製品にあたるRazorGate160 (RG160)と中～大規模向け製品にあたるRazorGate600 (RG600)には1個、そして大規模向け製品にあたるRazorGate 6000 (RG6000)には2個搭載した。ハードウェアとソフトウェアの両刷新により、RazorGateの基本技術であるウイルスやスパム検出を目的にレイヤごとにメールフィルタリングを行なう「マ

ルチレイヤプロテクション」(図1参照)も、より高い性能で実行できるようになり、シリーズ全体の拡張性が一段と向上された。

また、RG6000の内蔵ストレージが最大600GBまで搭載可能となり、各ユーザー(クライアント)に隔離フォルダを割り当ててユーザー単位でスパム管理(ホワイトリスト・ブラックリスト管理)ができる「Mirapoint Junk Mail Manager」(*)を、大規模システムでもより快適に利用できるようになった。このようなアップグレードされた性能は、メールセキュリティ機能だけでなく、MTAとしてのメール配送処理能力でも確認することができる。アンチウイルス、スパムエンジンを稼動中であっても、1時間あたり最大248,000通ものメールを処理することが可能になり、全モデルと比較して約30%以上もの処理能力向上を実現している。

* Mirapoint Junk Mail Manager: アンチスパムライセンスであるRAPID Anti-Spamを購入いただくお客様に無償ライセンスとして提供。

ミラポイント ジャパン(株)
TEL: 03-5431-0256 E-mail: info-j@mirapoint.com